

英語教員 冬のスキルアップ

第52回北海道高等学校教育研究会(高教研) 英語部会研究集会のご案内

1 今年の英語部会

北海道高等学校教育研究会(高教研)英語部会は、年に一度、全道の高等学校英語教員が一堂に会し、研究・研修を深める場として発足し、今年で52回目を迎える歴史と伝統のある研究会です。この間、日本の英語教育界をリードする多くの方々からご講演をいただくとともに、全道で活躍されているたくさんの方の先生方が素晴らしい研究発表を行い、北海道の英語教育において重要な役割を果たしてきました。

今回は、午前の「講演Ⅰ」で東北学院大学教授 村野井 仁 氏をお迎えして、「CLIL 的要素を持った技能統合型のコミュニケーション英語」を演題にご講演をいただきます。

午後からの「講演Ⅱ」では、北海道立教育研究所主査 俵谷 俊彦 氏をお迎えして、「道内外の英語教育の動向について(仮題)」を演題にご講演をいただきます。

また、今年度、初の試みとして「Q&Aコーナー」を講演の中に設け、現行学習指導要領に基づく授業や日々の取組に関わる疑問や悩み等に答えるコーナーも実施する予定です。

午後の後半の分科会では、全道各地の様々な規模・校種で活躍されている3名の先生方に発表をいただきます(開催要項参照)。現在、各先生方は、日々の実践を鋭意まとめているところです。各分科会の中から興味のある研究発表を選んで参加することができます。

2 午前の全体講演(講演Ⅰ)

<講師> 東北学院大学 村野井 仁 教授

<演題> 「CLIL 的要素を持った技能統合型のコミュニケーション英語」

<内容>

本物の学習を進めながら言語能力および学びのスキルを育てる「内容言語統合学習(CLIL:Content and Language Integrated Learning)の指導原理は日本の英語教育にも応用することが可能である。本講演では、コミュニケーション英語の授業において題材内容を大切にしながら4技能および学習スキルをバランスよく育てる具体的な指導方法を提案したい。理解活動から表現活動に有機的につながる指導過程を第二言語習得理論に基づきながら実践的に考える。

<プロフィール>

1961年福島県生まれ 中・高教員を経てジョージタウン大学大学院応用言語学専攻修了(Ph.D.)

現在、東北学院大学文学部英文学教授 専門は英語教育学、第二言語習得理論

<著書・論文>

『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』 大修館書店(2006)

『第二言語習得研究の現在とこれからの英語教育に与える示唆』 「ELEC 英語展望」2007年114号

『詳説第二言語習得研究』 研究社(2010)(共著)

『統合的英語科教育法』 成美堂(2012)(共著)

“Focus on Form Through Interaction Enhancement: Integrating Formal Instruction into a Communicative Task in EFL Classrooms” Language Learning 50, 4 (2000)

<その他>

文部科学省高等学校外国語検定教科書 Genius English Communication I・III(大修館書店)編集代表

文部科学省中学校外国語検定教科書 New Horizon English Course 1-3(東京書籍)編集委員



今年度も多くの皆さまの参加をお待ちしています！